

2016-2017年度 東日本区 理事通信 第20巻13号 2017年6月30日



「理事メッセージ」

あいさつ

多くの方の参加を得て、川越でのワイズメンズクラブ国際協会 第20回東日本区大会を開催することができました。参加してくださった方はもとより、準備と大会当日にさまざまな奉仕をして下さった多くの方に、深く感謝いたします。

この号は、この 20 回大会の概要を時系列でお知らせするものです。どうぞ、もう一度、川越での大会を思い出していただくとともに、都合で出席できなかった方々も、大会の雰囲気を少しでも感じ取っていただければ幸いです。

理事 利根川 恵子

東日本区理事杯争奪ゴルフコンペ

日時:2017年6月2日(金)

午前9:00 ティーオフ 18 ホール

(於):武蔵松山カントリークラブ

4組16人がプレー。和気あいあい。空は真っ 青、青葉や若葉が陽の光にキラキラ輝いています。 ここは、緑と池に囲まれた美しい武蔵松山CC18 番ホール、16名のワイズメンが次々にホールアウ トしてきます。皆、ニコニコ笑顔で晴れやか楽しそ うです。 しかし、午後は、突然の大風。私は喉をやられ3日間大変。でもアジア太平洋地域会長タン・ミン・シャオさんも参加してもらえてうれしかったです。

皆さん、ワイズメンらしくエチケットをわきま え、マナーの良いプレーをしていました。



果たしてその結果は・・・・。

優 勝:久保 勝昭(横浜つづき)

準優勝:藤井 寛敏(東京江東)

ベズグロ/3位:佐藤 諭(伊東)

ラッキー7: Tung Ming Hsiao (台北アルファ)

ブービー:吉田 紘子(東京むかで)

ドラコンアウト:鈴木 雅博(東京江東)

ドラコンイン:渡邊 実帆(沼津)

ニアピンアウト:勝又 秀仁(伊東)

遠かったで賞:梅原 敬二(伊東)

ワイズメンが連帯し、ワイズの理念をシェアする 良い機会にもなりました。

鎌田 政稔(川越)

牛村 永代(川越)

日時:2017年6月2日(金)

午後 7:00

(於):東武ホテル ロハス

参加者総数:54名

前夜祭にはゴルフコンペの参加者ばかりでなく、 西日本区から区会計の森 律子さん(八代)、国際・交流事業主任の森田美都子さん(京都パレス) もご参加くださり、当日の飛び入り参加も数名あり と、賑やかに開催されました。特に森田さんには乾 杯のご発声をいただき、会に花を添えていただきま した。(下写真)

プログラムのメインはゴルフコンペの表彰です。 前ページにあるように、大風の中のご健闘の結果を みなで讃えました。

その後はビュッフェで賑やかに懇談しながら、ウナギの蒲焼きなど、川越の味を楽しみ、大会への期待が膨らむ前夜祭となりました。



東日本区役員会

日時:2017年6月2日(金)

午後 3:00

(於):ウェエスタ川越 活動室1

(詳細は、後刻作成予定の区報第2号をご覧下さい。)

事業主任等報告リハーサル

日時:2017年6月2日(金)

(於):ウェエスタ川越 活動室1

午後:5:15

実践さながら、発表資料をプロジェクターで写しながら、時間測定も行い、内容と時間配分について、厳しい指導が入る場面もあり、皆さん、翌日の本番に向けて最後の準備に入られました。その結果は、後刻作成予定の区報第2号をご覧下さい。

前夜祭・ゴルフコンペ表彰式

登録受付

日時:2017年6月3日(土)

午前 10:00

(於):ウェエスタ川越 大ホール ロビー



年次代議員会

日時: 2017 年 6 月 3 日(土) 午前 10 時 30 分

(於):ウェエスタ川越 活動室 1.2

(詳細は、後刻作成予定の区報第2号をご覧下さい。)

メネットアワー

日時:2017年6月3日(土)

午前 10 時 30 分

(於):ウェエスタ川越 会議室1

ワイズメネット委員長 相磯優子(沼津)

6月3日、ワイズメネットアワーは来賓として、 日本 YMCA 同盟総主事 神﨑清一様をお迎えし、総 勢33名の出席で開催致しました。

讃美歌に続き村杉一榮メネットによる聖書朗読と お祈り。神﨑総主事からのご挨拶では"絵本を贈る 活動"の継続への感謝の言葉を頂きました。

2016-2017 年度の事業報告では、委員会と各クラブ・部の活動報告。田中直美会計よりメネットのつどい会計報告とメネット献金報告(28 クラブ+1 部+東西交流会より 総額 416,600円)。 "絵本献金"は 200,000 円にあと 1 歩で届くという現状を説明し、参加者の皆様にご協力をお願いした結果、メ

ネットアワーにて、20,100円もの献金を頂きました。

メネットの心意気を感じざるを得ません。ありが とうございました。

井上優子北東部主査からは前年度東日本大震災復興支援金を盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンター (45,000 円)、とちぎ YMCA 主催「ユース・リーダーズ・アクト 2017」少年ドッジボール大会 (43,000 円)、会津放射能情報センター (43,000 円)への献金報告。

また、今年度東日本大震災復興支援寄託金は加藤真子メネット委員へ目録を授与しました。

引継ぎ式では松本倫子メネット立ち合いのもと次期大村知子メネット委員長へ聖書を手渡しました。 藤井祥子メネットに食前の感謝を頂き、会食と講演を楽しみました。

「"整理"ではぐくむ豊かなくらし」と題し、講師の小林晶子メネットから、明日を楽にする暮らしの片づけや時間整理など暮らしを整えることで叶える自分のための生き方・ライフスタイルのススメを楽しくわかりやすくお話頂きました。謝辞を細川俊枝メネット委員。

スムーズな司会進行は島田京子メネット委員。委員会メンバー総力を結集してのメネットアワーとなりました。会の最後に「メネットのねがい」を歌唱し閉会としました。

ご参加いただきありがとうございました。



担当主事会

日時:2017年6月3日(土)

午前 10 時 30 分

(於):ウェエスタ川越 会議室2

2016-17 連絡主事 光永尚生 (三島)

今年度の担当主事の会は、とちぎYMCA、埼玉YMCA、茨城YMCA、東京YMCA、横浜YMCAより22名の参加により開催された。ワイズメンズクラブ東日本区全体の担当主事の約1/3の参加であった。ワイズ担当別では、宇都宮、茨城、所沢、川越、東京ひがし、東京世田谷、東京コスモス、東京ベイサイド、東京、東京八王子、東京グリーン、東京むかで、東京北、山手、東京まちだ、信越妙高、東京武蔵野多摩、横浜、横浜とつか、金沢八景、三島の各クラブ所属であった。まずは、お互いの自己紹介などを行い旧交を温めたり再会を喜ぶ姿が見られた。

協議の内容は、日本 YMCA 中期計画、ブランディング推進と、担当主事の役割について意見交換、各担当主事からの活動報告、紹介などを行い、それぞれの働きの確認と質疑応答を行った。特に、YMCAとワイズメンズクラブの地域での協働には、それぞれの特色が出ており、活発な意見交換も見られた。事例として、東京ベイサイドクラブの新しいポスターでの協働に関するアピールと EMC 推進への繋がりとしての発表と斬新なチラシを紹介いただいた。また、6月から順次、表出されていくオールジャパン YMCA の働きの一つとして、「ポジティブネットのある豊かな社会を創る」働きに関しての意見交換も進められた。

ユースの会

日時:2017年6月3日(土) 午前10時30分

(於):ウェエスタ川越 会議室

2016-17 ユース事業主任 大久保知宏(宇都宮)

平成29年6月3日に開催されたユースの会について報告します。ユースの会は東日本区大会の初日に10時~13時、14時20分~16時の二部構成で、ユース8名、ワイズのべ12名で開催された。詳細はファシリテーションを依頼した同じユースでIYC参加経験者の藤永さんの報告書を参照いただきたい。こうした会においてもユース自らがワイズメンをリソースパースンとして活用する形をユース事業では理想形と考えている。

ユースの会 報告及び感想

藤永 嵩秋(ユース)

Y'sユースの会では、AYCタイ大会を前に参加者へのオリエンテーションも兼ねていたため、ユースを主役に位置付けて2部構成で会を進めるようにした。

スケジュールは以下の通りである。

- ① 1部
- ・自己紹介(氏名、所属 Y's または YMCA)
- ・アイスブレイクを兼ねたグループ毎でご歓談タイム(テーマ:夏の楽しみ)
- ・セッション 1: AYC への参加動機
- ・セッション 2:ユースと Y's の関係(ユース視点と Y's 視点)
- ・昼休憩
- ・AYC に向けた、航空情報のガイダンス及び AYC の再説明
- ② 2部(ピーター氏による、英語のグループディスカッション練習)
- ·自己紹介
- ・ユースの在り方について

- ・必要とされるリーダーシップとは
- ・平和とは何か
- ・ピーター氏からのご指摘、アドバイス

※1 部では主にユースの話に焦点を当て、できる限り彼らの参加動機を明確化させることを目的にした。

※2 部では、YC の場で意見交換できるように英語で 話す練習を行うものとした。

次に、ユースの会で話し合われたことに私の意 見・感想も加えてまとめる。

1. 参加動機の浅はかさとユースの成長

まず取り上げるべきは、ユースの AYC への参加動 機がまだ浅いものだったことだ。参加動機をより具 体化させることで AYC への事前準備を整えるのを狙 いにしていただけに、実りある話が出来なかった。 しかし、これは必ずしもユースの積極姿勢が低いの ではない。参加動機が浅はかなのは、そもそもYC への理解が浅はかであったことに起因しているよう だ。事実、今大会前に AYC オリエンテーションが行 われたみたいだが、結論として何も理解出来ていな いとユースが言っていた。私の考えだが、YCの開 催目的と意義をしつかり説明するべきだと思う。も っと言えば、勧誘する段階からユースには自分の将 来像をちゃんとイメージさせてあげるべきだ。YC では世界ユース活動について話し合う組織的な目的 もあるだろうが、YCの醍醐味は世界中で活躍する ユースの姿を確認し合って自分を見つめ直すことに

あるのではないだろうか。リーダーシップをテーマにしたセッションがあるのはその1例である。ユースの成長に期待するなら、自分がどうなりたいのかを彼ら自身に考えさせるよう指導すべきである。

2. 英語に向き合う姿勢

英語の得意不得意に関係なく、ノートとペンを使 って話したいことや考えを予めまとめておくのが良 いとの意見が多かった。今回もアドバイザーとして お越し頂いたピーター氏だが、英語が上手く話せな いことを引け目に捉えることをナンセンスだと毎回 指摘している。引け目に感じて黙るよりは、むちゃ くちゃな英語をぶつけて挑戦することの方が収穫は 大きいと仰っている。多かれ少なかれ譲り合いをし がちな日本人にとってずっと発言し続ける外国人と のディスカッションは中々大変なものではある。だ が、何も言えずに黙り続けることとはまた別の話で ある。そこで、その言い訳潰しとしてノートとペン を用意する対策案が出された。予めノートに考えを まとめておけば、あとはそれを読み上げるだけで済 むというものだ。会話に入れる回数は少ないかもし れないが、発言できるチャンスが回った時にハッキ リと意思表示できることはとても重要になる。



オープニングセレモニー

日時:2017年6月3日(土)

午後 12 時 45 分

(於):ウェエスタ川越 大ホール

司会:吉野 勝三郎(川越)河合 今日子(川越)

来賓は、下記の5名。

川越市長

川合 善明氏

小江戸川越観光協会会長

粂原 恒久氏

日本YMCA同盟総主事

神﨑 清一氏

アジア太平洋地域会長

Tung Ming Hsiao 氏

西日本区理事

岩本 悟氏

東日本区(386名)

北海道部(4クラブ、8名)

北東部(10クラブ、40名)

関東東部(10 クラブ、77 名)

東新部(7クラブ、49名)

あずさ部(11クラブ、79名)

沖縄・湘南部 (7 クラブ、39 名)

富士山部(9クラブ、94名)

西日本区(24名)

中部(1クラブ、1名)

京都部(4クラブ、11名)

阪和部(1クラブ、2名)

中西部(2クラブ、5名)

六甲部(1クラブ、2名)

九州部(2クラブ、3名)

ボランティアスタッフ(7名)

総勢 425 名の参加でした。これ以外にも、道案内で協力してくれた高校生8名がいました。

オープニングでは、菅原道真お囃子連が川越祭りの雰囲気を醸し出し、歓迎ムードが一気に高まりました。





バナーセレモニー

全クラブのバナーが壇上に揃いました。



開会式

開会宣言:点鐘:東日本区理事 利根川 恵子 (川越)



ワイズソング

全員



聖書朗読·祈祷: 澁谷 弘祐牧師(所沢)



歓迎のことば

大会実行委員長 松川 厚子(川越)



来賓祝辞

川越市長 川合 善明様



小江戸観光協会会長 粂原 恒久様



日本 Y M C A 同盟総主事 神﨑 清一様



アジア太平洋地域会長 タン・ミン・シャオ様



西日本区理事 岩本 悟様



メモリアルアワー

昨年の長野大会以降に亡くなられた下記 9 名のワイズの仲間を覚えて、黙祷を捧げました。

白坂 鐘蔵(東京江東)

平川 光則(所沢)

鈴木 孝子(甲府)

青木 勝己(東京グリーン)

谷口 泰幸(熱海グローリー)

木原 洸 (東京西)

佐々木 はる子(下田、メネット)

竹内 敏朗(熱海グローリー)

堀内 浩二(東京西)

<u>20 周年記念プログラム</u>

まず、11 周年から今年までの 10 名の理事・国際会長、アジア地域会長を紹介して、登壇の際には、今年 20 歳の若きボランティアリーダーからステージの袖で薔薇の花を渡して感謝の気持ちを表しました。歴代理事、国際会長、アジア地域会長は、下記の通りです。

11代 越智 京子(東京たんぽぽ)

12代 清水 弘一(石巻広域)

13代 原 俊彦(富士五湖)

14代 松田 俊彦(東京)

15代 河合 重三(富士)

16代 駒田 勝彦(甲府21)

17代 渡辺 喜代美(十勝)

18代 田中 博之(東京多摩みなみ)

19代 渡辺 隆(甲府)

20代 利根川 恵子(川越)

2010-2011 年度 国際会長

藤井 寛敏(東京江東)

2010-2011 年度 アジア地域会長 高田 一彦(横浜)



東日本区アワー①

司会:山本 剛史郎 (川越)

理事年次報告

東日本区理事 利根川 恵子 (川越)

年次代議員会報告

東日本区書記 山本 剛史郎 (川越)

部長報告

北海道部 部長 山本 雅之(十勝) 北東部 部長 長岡 正彦(もりおか) 関東東部 部長 片山 啓(茨城) 東新部 部長 細川 剛(東京) あずさ部 部長 浅羽 俊一郎(東京山手) 湘南・沖縄部 部長 若木 一美(横浜とつか) 富士山部 部長 増田 隆(富士)

東日本大震災・熊本地震支援報告

清水 弘一(石巻広域) 岩本 悟(西日本区理事) (上記の詳細は、後刻作成予定の区報第2号をご覧 下さい。)

一休憩一

記念講演(一般公開)

日時:2017年6月3日(土)

午後4時

(於):ウェエスタ川越 大ホール

司会:栗原 成晃(所沢)

講師:鳥塚 亮氏

(いすみ鉄道株式会社代表取締役社長)

講演題

ローカル線を救うおもてなし

~危機を乗り越え、地域を元気にする方法~

一般公開としましたので、約50名の一般の方が 参加してくれました。90分の講演は、息をつく暇 もないほど聴衆を引き付ける内容で、メモを取る人 も多くおられました。今回の区大会を非常に思い出 深いものにしてくれた講演でした。講師の手配を担 当して下さった、栗原 成晃(所沢)メンに感謝す るところ大です。



キャンプソング

2017年6月3日 午後5時30分~6時

リーダー:衣笠 輝夫(埼玉)

曲目: 3曲 「幸せなら手をたたこう」・

「ズンゴロ節」・「大きな歌」



講演会のあと、すこしリラックスして「キャンプソング」。

埼玉YMCAリーダーズに加えて、アジア地域ユースコンボケーション2017に参加するユースとそれを支えるユースOBも参加してくれました。さらにキャンプソングが好きなワイズ有志も参加され、にぎやかな「キャンプソングアワー」になりました。

衣笠輝夫(埼玉)

晩餐会

日時:2017年6月3日(土)

午後6:30

(於) ウェエスタ川越 多目的ホール

27 のテーブルに分かれて、楽しい会食となりました。席割りは、まず、来賓と区理事・書記・会計・実行委員長などを最前列の中央に据え、DBCのあるクラブ同士は、できるだけ同じテーブルになるように配慮した以外は、今回の川越大会のテーマである"温故知人"の実践として、同じクラブからの出席者も、敢えてばらに座ってもらうように考えました。どうだったでしょうか。又、初めて区大会に参加された方には、年齢に関係なく、皆さんにコサージュを胸に付けてもらって、全員で歓迎するように工夫しました。

ジャズバンドは地元のグループでした。最後のアピールタイムでは、次年度の区大会をホストする、沼津クラブから"富士山より高く"のテーマで、2018年6月2日(土)・3日(日)沼津駅近くで開催されることが発表されました。





フェローシップアワー

日時:2017年6月3日(土)

午後8:30

(於) "エルミタージュ" 参加人数: $60 + \alpha$

お酒も入り、お腹も一杯。久しぶりのワイズの仲間との再会。ホテルに帰って寝るには早すぎる。そんな人たちが三々五々、近くの"エルミタージュ"に集まりました。

東日本区創立 20 周年を記念して、利根川理事が 20 個のプレゼントを用意してくださいました。

20にまつわるアニバーサリーをみんなでお祝いしました。こちらで用意したトピックは「誕生 20周年を迎え東京コスモスクラブ」とか「DBC 締結 20周年を迎えた伊東クラブと彦根シャトークラブ」「結婚 20周年」「お子さんやお孫さんが二十歳」などでしたが、「20×2年前に、川越に、子どもたちを連れて遠足に来ました。」など、無理やり 20にちなんで、ストーリーを披露してくださる皆さんで、会場は大いに盛り上がりました。

大澤 和子(所沢)

早朝散歩

日時:2017年6月4日(日) 午前6時~7時

(於)川越中心部を散策

6時に東武ホテルをスタート。 参加者は 16 人。 八幡宮―イチョウ稲荷神社―教会(川越クラブの山崎純子さんに少しパイプオルガンを弾いてもらい)―連馨寺で(おびんずる様の頭を撫でて)― 熊野神社からホテルへ。 朝早くから大変と思って ましたが清々しかったです。

牛村 永代(川越)

聖日礼拝

日時:2017年6月4日(日)

午前9時10分~9時40分

(於)ウェエスタ川越 大ホール

司会:衣笠 輝夫(埼玉)

奨励:大島博幸牧師(ふじみ野バプテスト教会)



東日本区アワー②

日時:2017年6月4日(日)

午前9時40分~11時25分 (於)ウェエスタ川越 大ホール

司会:山本 剛史郎(川越)

事業主任報告

地域奉仕事業主任 加藤 博(熱海グローリー) 会員増強事業主任 菊地弘生(仙台青葉城) 国際・交流事業主任 太田 勝人(東京世田谷) ユース事業主任 大久保 知宏(宇都宮)

メネット委員長報告

相磯 優子(沼津)

各種表彰式

奈良傳賞

森 重男 (熱海)メン

(当日のスクリーンで、お名前が間違っていました。大変失礼しました。)

略歴(熱海クラブ・1936年1月2日生まれ 81 歳)

1974年、熱海クラブに入会。ワイズ歴 42 年を誇る。この間、熱海グローリークラブ設立に尽力。その後も熱海クラブの会員増強、事業の拡大等同クラブの発展に貢献。クラブ最年長でも、クラブ役員を歴任、区大会、地域大会、国際大会にも積極的に参加し、ワイズの手本となる活動をなさっています。富士山部部長、第18回アジア地域大会(十勝)の広報委員としても活躍なさいました。

また、熱海 YMCA 理事運営委員として、部内 YMCA 事業をコーディネート。特に英語スピーチコンテストの企画・運営をにない、同コンテストの定着に貢献なさいました。



梅原 敬二(伊東)メン

略歴(伊東クラブ・1936年3月21日生まれ 81歳)

1976年、チャーターメンバーとして入会以来、41年間現役活動中で、例会出席率はほぼ100%です。伊東クラブの活動拠点として不可欠のYMCA伊東センター献堂にも顕著な貢献をなさいました。また、YMCA伊東センター主催の活動にも積極的に参加し、若手メンバーの手本となっています。



(その他各種表彰の詳細は、後刻作成予定の区報第 2号をご覧下さい。)

理事・役員引継ぎ式

司会:元東日本区理事 駒田 勝彦(甲府21)

司式:元国際会長 青木 一芳(千葉)





次期理事所信表明・次期役員紹介

次期理事 栗本 治郎 (熱海)





閉会式

日時:2017年6月4日(日) 午前11時30分~12時 (於)ウェエスタ川越 大ホール

司会:小関 京子(所沢)

礼拝献金贈呈

大会実行委員会委員長 松川 厚子(川越)

大会旗引継ぎ

川越クラブから沼津クラブへ



<u>理事ホームクラブバナー引継ぎ</u>

川越クラブから熱海クラブへ



大会実行委員会委員長挨拶

松川 厚子(川越)

YMCAの歌

参加者一同

閉会点鐘

東日本区理事 利根川 恵子(川越)



閉会

<u>ちょぴり 大ホール舞台裏ものがたり</u>

日時: 2017年6月3日~4日

ウエスタ川越 大ホール舞台裏

舞台裏準備の慌ただしさのピークは第一日目(6月 3日)のバナーセレモニーと第二日目(6月4日)の 役員引継式です。幸いなことにウエスタ川越大ホール の幕後が広く、走り回ることができました。毎回準備 で走り回るバナーセレモニー。全員揃って入場するま でが先ず大変。バナー忘れや集合・待機遅れでなかな か揃いません。そしてやっと入場。部長・クラブ会長 は客席に向かい部旗、クラブ旗を持って挨拶・理事と 握手そして舞台段に立ち旗を掲げ再整列します。長引 かないように又位置を間違わないようにリードする緊 張の一瞬です。各場面で変わる講壇位置、各旗位置、 椅子の位置と個数への対応にも追われます。そのピー クが第二日目の新旧役員引継式。新旧役員全員の椅子 と席表を舞台裏で実際に並べてみて、すぐに対応でき るように準備。旗の引き継ぎでは旗の置台を持って舞 台裏を左から右にリレーで走り大汗をかきます。その ような作業を関東東部の若いベイサイドクラブや東京 ひがしクラブ、江東クラブ等々の多くの方々に応援・ 支えていただきました。ありがとうございます。

衣笠輝夫(埼玉)

エクスカーション(オプショナルツアー)

午後12時15分 ウェスタ川越前集合

A コース: 歩いて巡る 小江戸川越半日コース

参加人員:15名

エクスカーションで小江戸の街歩きを満喫

川越は昨年700万人を超える観光客を迎えたとあって、歴史に育まれた街並み歩きは想像以上に豪華で、驚きました。加えてわがクラブは初めて8人が参加できたので、嬉しい企画でした。喜多院や、五百羅漢さんも強く印象に残りました。歴史ある料

亭での昼食、バスでの送り迎えなど、多分参加費だけでは賄えないほどの豪華な旅でした。一番ありがたかったのは体力面で心配があったメンバーが車椅子で回れたことです。写真にあるように、JINRIKIという補助棒を付けて、曳く人と後ろで支える人がいればとても楽に回れるのです。思いがけず、ガイドさんが行程の多くを曳いてくださいました。

ちなみにプルタブ収集による車椅子をわがクラブ がいただきましたので、後日東山荘に寄贈いたしま

した。YMCAでJINRIKIを購入してくださり、既に運用を始めたようです。多くの皆さんに利用していただき足腰の心配な方にも里山歩きを楽しんでいただけたら幸いです。



森本俊子(長野)

B コース: バスで巡る 秩父観光コース

(中止)

 C コース: バスで巡る 鉄道博物館と

 大宮盆栽美術館

参加人員: 15名

大宮鉄道博物館と大宮盆栽美術館は 参加者が少なかったのですが、JTBの好意でマイクロバスで、両方ともガイドの説明がありました。

鉄博は目下、ジオラマと奥に新しい4階建てのミュージアムを建設中で、私は家族とよく行っていますが、行く度に大きくなっていて、鉄道の人気が伺えます。鉄道ファンにはたまらない魅力の場所。蒸気機関車・昔の特急列車・新幹線・客車などいろいろですが、やはり博物館の案内人の説明を聞いて、初めて知ったこともたくさんありました。昔の客車に腰掛けてタイムスリップ。





思ったより良かったのは盆栽美術館でした。11日まで1週間限定で「さつき展」が開催されていて、特に、エントランスホールの松の盆栽仕立てのさつきは、ほとんど白一色の中に、斜めに流れるようなオレンジ色の花が咲いていました。 これを見ただけでも参加してよかったと感激!

外国人観光客に人気のスポット。幸運なことにロビーに見事な「サツキ」が展示されていて、多くの人が写真をパチリと楽しまれていました。

皆様、大満足で帰られました。



牛村 永代(川越)

衣笠 輝夫(埼玉)

以上